

ブタクサ公害

世はあげて公害時代……近頃は雑草，特に帰化雑草の花粉などが，ぜんそくや鼻炎のもととなるということがしばしば話題になる。あるいは，オオアワダチソウ，アメリカセンダングサなども犯人という人もいるし，近頃はクワモドキ（オオブタクサ）が最も悪い奴だともいわれている。

例えば，去る9月6日の毎日新聞などは「新たな“公害”ブタクサ，アメリカ渡来の雑草，花粉で鼻炎，ぜんそく，“値上がり待ち空地”に繁殖」と8段ぶち抜きで大きく取り上げている。この表題を見ると，いかにも最近輸入された雑草のように読みとられるが，その説明を読んで見ると「明治時代から日本にはいつてきた典型的な帰化植物」とある。事実今から50年近くも以前，大正の震災当時，既に駒場の東京大学農学部構内には一ぱい生えていたし，渋谷から代々木附近の住民の中には，そのためぜんそくに悩まされた者があったと聞いた。そして，前掲の毎日新聞の記事の中には「アレルギー臨床研究所の北原所長や橋元医師らの話によると，ブタクサの繁殖力はすさまじく，最近では東京全域と埼玉・千葉へも広がっているが，東京ではとくに多摩川流域に密生している」と書いてある。ところが，現在私は大宮に住んでいるが，私の住んでいる附近には殆んど全く見当らない。50年以上も経って駒場から大宮まで勢力を延ばすことが出来ないような状態から想像すると，日本在来の雑草の生い繁るような所では生存競争に負けてしまって，新しく空地になったような所をねらって繁殖して行くか，なまじ，なまはんかな除草などをやる所に侵入し

目 次

花粉病と植物 千葉大学教授 理学博士 沼田 真 ……………	2
花粉公害植物の薬剤防除 (財)日本植物調節剤研究協会 ……………	6
試験用噴霧器の一考案 農林省林業試験場赤沼試験地 石井邦作 ……………	10
そ菜の軟化栽培と生育調節剤 東京都農業試験場栽培部 沢地信康 ……………	12
新登録除草剤一覧 ……………	16
登録生育調節剤一覧 ……………	16

て行くのではあるまいか。50年前の駒場附近の状態と今日の多摩川沿いの状態など，似ているのでないだろうか。

そして，その対策として北原所長は「刈るほか対策ない」といつている。一般にキク科植物は除草剤に強い性質を持っているが，1年生のこの雑草，しかも他に除草剤の被害を受けるような作物もない空地で，刈るほか対策がないというのも芸がないような気がする。クワモドキは，比較的近年輸入されたもののようで，形も大きく，退治するのに手がかかるかも知れないが，矢張り1年生，何んとかなりそうに思う。

日本植物調節剤研究協会会長 河 田 党